

CITIZEN 電波時計(デジタル掛・置兼用時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 D017-CGXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 見やすい大きなデジタル表示
- 置いても掛けても使える
- 温度と湿度を同時表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y0706)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 電池はすべて指定の新しい電池をご使用ください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

■液晶について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

- 販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
 1. 保証書のご提示がない場合。
 2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
 5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キス)

※ 送料・出張料は、実費をいただきます。

受付年月日	修理内容	確認印

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路・歯車等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、**製品番号(型番)「8RZ065」**をお伝えください。

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になる際には、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

5 電波受信スイッチ

電波受信スイッチをONにすると定期的に標準電波を受信し、受信に成功すると時刻およびカレンダーを自動的に修正します。電波を受信しないで手動で時刻合わせをして使用するときは、OFFにしてください。

6 強制受信とリセット操作

- 強制受信は、場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。手動で時刻合わせをしているときは強制受信操作はできません。
- リセットボタンは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00に初期化されます。

7 静電気による誤作動

静電気の影響により誤作動し、正常に表示しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

8 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。測定範囲を超えた場合の表示

温度: 「HH.H」 50℃より高温 「LL.L」 -9.9℃より低温

湿度: 「HH」 95%を超えた 「LL」 20%未満

湿度は温度が5℃未満または50℃を超えると「--」表示になります。

③本製品は室内用ですので、室内の温度・湿度の計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

GUARANTEE 保証書	
取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。	
※品名・型番	8RZ065
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様ご氏名	様
ご住所	
TEL()	-
※販売店所在地	
※店名	
本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。 ●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。●この保証書は国内のみ有効です。 This guarantee is valid only in Japan. ※印は販売店記入	

電波時計について

電波時計とは

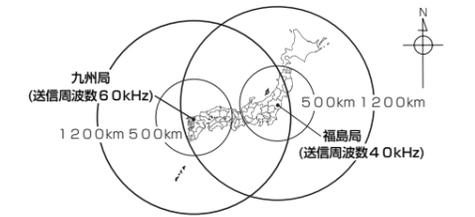
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。(http://jiy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件によって受信できない場合があります。

※電波障害により誤った時刻を表示することがあります。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く

おもな製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合(受信直後)表示精度 ±1秒以内 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～+50℃ (※)
使用電池	単3形マンガン乾電池(JIS規格 R6P) 2個
電池寿命	約1年間
その他	標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 電波受信機能のON/OFF切り替え 時刻表示 12時間/24時間制切り替え表示 カレンダー 2007～2099年 西暦、月日 温度 -9.9～+50℃ ±2℃ 湿度 20～95% ±10% (周囲温度範囲5～50℃)

(※)0～40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

○付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

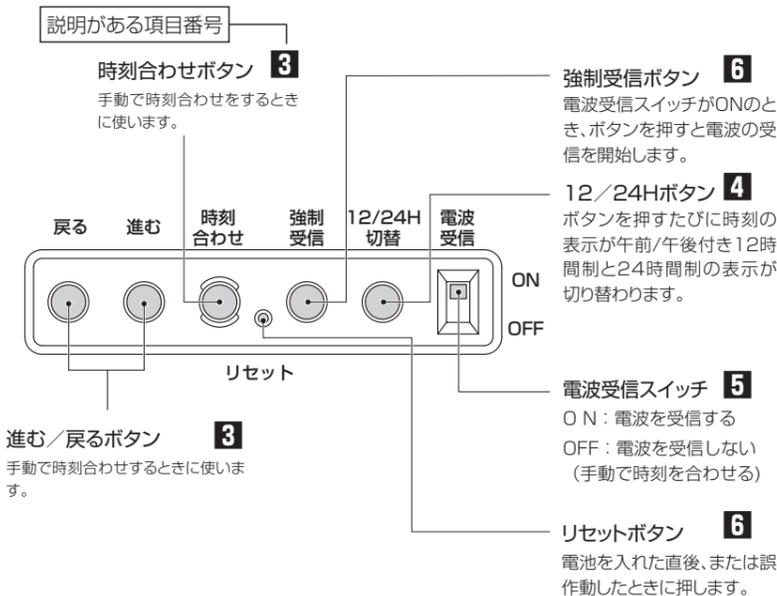
お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けたとき、静電気により時計および壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

【裏面操作部】

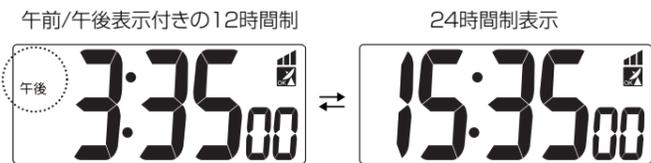


液晶表示は見る角度によって、ムラに見ることがあります。

4 表示の切り替え

12時間制と24時間制の表示切り替え

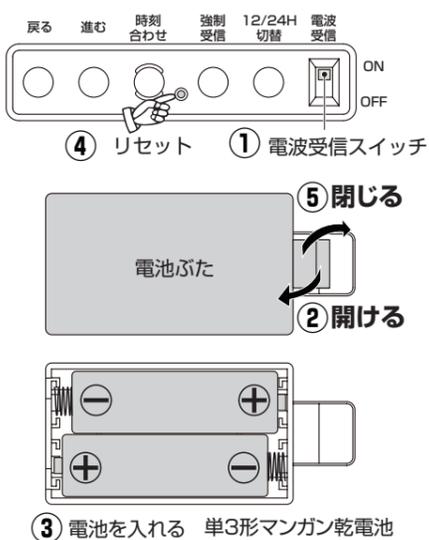
12/24Hボタンを押すたびに交互に切り替わります。
※電波の受信中および現在時刻の設定中は切り替えができません。



電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計、壁面、家具などに損傷を与えます。時刻の表示が薄くなったり時計が止まったら電池を取り出さず、電池を新しいものに交換してください。

1 電波を受信して時刻を合わせる



- 電波受信スイッチをONにする
 - 電池ふたを取り外す
 - 電池を入れる
電池ホルダーの⊕表示に合わせて入れます。
 - リセットボタンを押す
ボールペンの先などで押してください。
 - 電池ふたを取り付ける
 - 約21分後に受信結果を確認する
【受信の流れと表示】参照。
- ※窓際など電波を受信しやすいところに置いてください。
※手で時刻を合わせるときは、「3 電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」を参照してください。

※受信中はボタンに触れないでください。
電池の交換について
•すべて指定の新しい電池に交換し、リセットボタンを押してください。
•この時計はマンガン乾電池の特性に合わせて設計されていますので松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、正常に機能しない、電池寿命が短くなるなどの障害が発生することがあります。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

受信マークの変化



チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2007年1月1日 午前12:00に設定される。



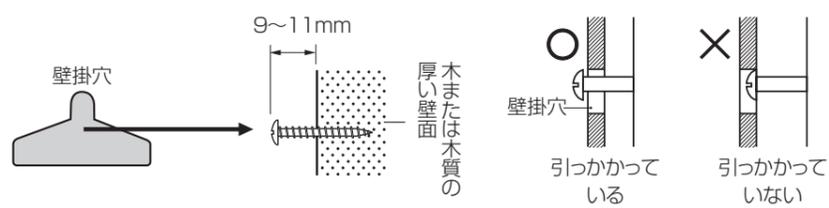
※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。
(受信に成功したときの表示例)

※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。
(受信に失敗したときの表示例)

2 時計の設置

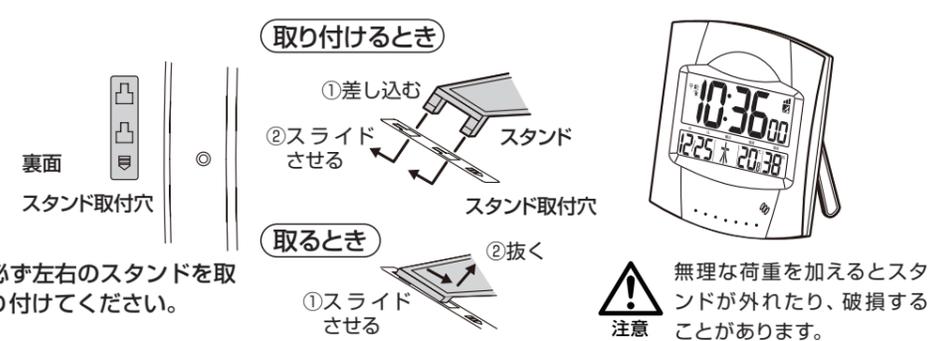
掛ける 掛時計としてご使用になるときは、落下防止のため確実に掛けてください。時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。
- 掛けて使用するときにはスタンドを取り外してください。

置く 置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のように取り付けてください。※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。



3 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。つぎにリセットボタンを押して受信を開始させます。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

- 手動での時刻の合わせ方**
- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
 - 操作例を参考にして合わせてください。
※電波受信スイッチがONの場合、手で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。※「6 電波受信スイッチ」
 - ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
 - ※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。
- ①時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけます。西暦年が点滅します。
②進むまたは戻るボタンで「年」を「2008」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
③進むまたは戻るボタンで「月」を「12」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
④進むまたは戻るボタンで「日」を「25」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
⑤進むまたは戻るボタンで「時」を「10」に合わせます。時刻合わせボタンを押して確定します。
⑥進むまたは戻るボタンで「分」を「36」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに秒は「00」秒に設定されます。時刻合わせボタンを押して確定します。
- 時刻表示は12/24時間制がありますので、表示に注意して時刻を合わせてください。
○電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

操作例 2008年12月25日 午前 10:36 に合わせる

